



2025年 5月 4日  
第188号

# JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreuyokohama1.jp/>



## JR東労組 横浜地本 「沖縄平和研修2025」報告集会



今だから考える時間がある  
少しだけ考えてみませんか

### 研修参加者による研修報告



懇親会には

**牧山ひろえ**

参議院議員も参加！



来年沖縄平和研修に参加してみませんか？



4月27日(日)、「あーすぷらぎ・映像ホール」において『沖縄平和研修2025』報告集会を開催しました。

はじめに、参加者を代表して横浜運輸区分会の研修参加者が沖縄平和研修報告のプレゼンテーションを行い、その後はディスカッションとして、研修参加者から現地に立って学んだことや感じたことの報告を行い、集会参加者から報告を聞いた感想を出し合いました。

研修参加者から「最終的に犠牲になるのは私たち国民であって、市民であって、労働者である。」「何度か観光で行った沖縄とは全然違う。」「テレビやネット、学校の勉強で知り得たことなど戦争のほんの一部であり表面上の薄っぺらいものと思った。」「どうしたら戦争が無くなるのか考えたが答えが出ない。」「犠牲があつての社会という社会には納得できない。」など、研修に参加しての感想が改めて述べられました。集会参加者からは「戦争はよくない、『命奪ってこい！』が本当にいけないと肌で感じたことを、次の世代だったり、参加していないメンバーだったりに伝えるのが大切。」「普通に生活をしているときは人を殺してはダメと言うのに何で戦争ではまかり通るのかという怒りがある。」「広島原爆資料館に行ったときに外国の人が多く日本人は修学旅行生以外ほとんど見なかった。」など、感想や意見、実体験などが述べられました。

また戦場で兵士となった人が負う心の傷について、ドキュメンタリー映像の視聴を通じ、いかにして兵士の心の傷を世の中に知られないように覆い隠し、戦場に送り返すための治療を行ってきたか、治療や軍紀違反という名目で、いかに人権を無視した行為が行われたのか、国家が起した戦争によって、心を壊されていく市民という構造を学びました。

集会後の懇親会にはお忙しい中 JR 東労組横浜地本推薦議員等懇談会会員の牧山ひろえ参議院議員にお越しいただき、政治家を目指すことになった経緯や、今後目指していく社会について、実現したい政策についてあいさつをいただきました。さらに参加した組合員と交流して意見交換を行いました。

**弱い者の立場で平和で安心して働ける社会を実現しよう！**